

2.5.5 講習会・まち歩き、ワークショップの実施

1) ワークショップ

12月5日（火）、座間味村離島総合センターにおいて、座間味村の風景づくりや景観形成に関する現状と課題について意見交換を行った。さらに、今後、風景を良くするために、必要な取り組みについて意見を出し合ってもらった。

ワークショップでの意見の整理

地域で大切にしたいもの、誇りに思うもの	領域
・赤瓦屋根の家屋/・石垣/・フクギ並木/・集落のスーヅ小/・シーサーが並ぶ道/・拝所/・カー（井戸）	集落景観
・海神祭り/・各集落の伝統行事	伝統行事の景観
・白い砂浜/・ケラマブルーの海/・サンゴ礁の海/・展望台からの海や島々の眺め	自然景観
・座間味小中学校の敷地内にあるガジュマル/コミュニティセンターの前にあるガジュマル/・阿真の大アカギ/・ケラマツツジ/・ケラマツツジ/・ハマカブラ/・グンバイヒルガオ/	樹木、植物
・阿真ビーチのアダン越しに見る冬の夕陽/・神の浜展望台からの夕陽/・港から見える星空/・阿真ビーチから見える天の川	夕陽・星空

好ましくないもの、改善した方がよいもの	概要
・集落の入口にある圧迫感のある大きな建築物/・島の風景を損なう建築物	圧迫感のある建築物
・管理が行き届いていない公共施設や展望台/・空き家や廃墟/・管理が行き届いていない空き地や空き屋敷	管理が行き届いていない施設や建築物、敷地
・プレハブやスーパーハウス	簡易な建物等
・ごみのポイ捨て	環境美化
・看板やのぼり	屋外広告物
・集落内を水着で歩く観光客/・禁止されているビーチでの花火やたき火	観光客等のモラル

取組むことに関する意見

風景づくり（景観形成）のためにできること	領域
<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税を活用し、苗木配布などによる緑化 ・生垣をつくる際のルールづくり 	緑化活動
<ul style="list-style-type: none"> ・道路脇のゴミを拾う ・年末に各班で大掃除を計画する ・各班で定期的に区内の清掃（村が道具の準備をする） ・年に数回、各区の皆で清掃活動 ・景観に関する勉強会や意見交換会で改善できる場所をあげ、参加できる人で清掃活動を行う 	環境美化活動
<ul style="list-style-type: none"> ・まずは個々の意識の向上 ・観光客に対するモラルやマナーについて高速船・フェリーでアナウンスを流す ・公共工事の際は必ず事前に住民との意見交換会をして、景観に対する意見を取り入れる ・景観に勉強会を数年に1度行う（変な建物は無いか、きれいな建物はどこ、ルール変更は必要か） ・守りたい景観の具体的なことを村民で共有し、観光客にもアピールする 	意識啓発



▲ワークショップの様子



▲ワークショップの様子

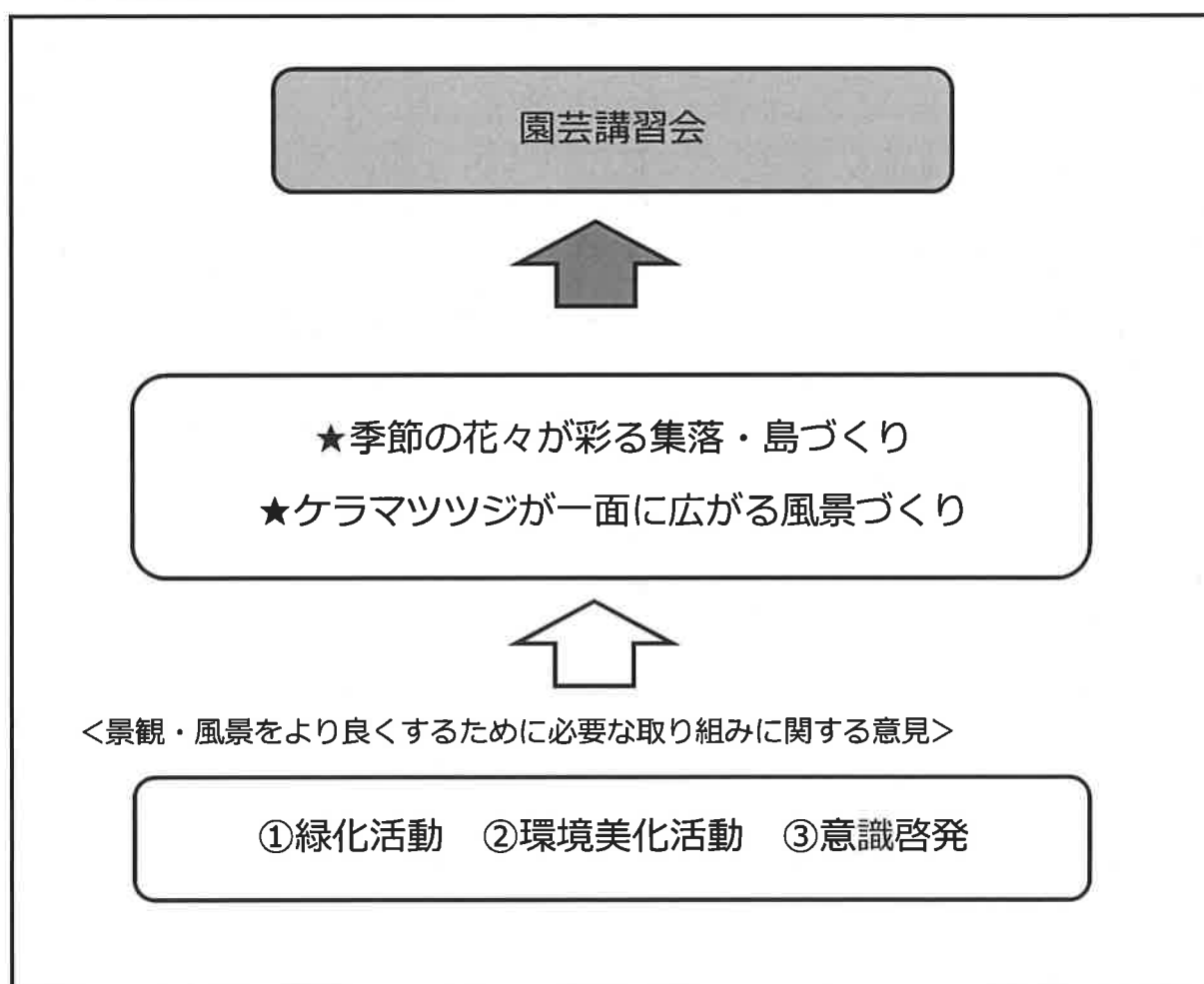
2.5.6 実地研修の実施

座間味地区でワークショップでは、集落内の空き屋敷を中心に管理が不十分な状況が気になるとの意見が多く寄せられた。また、景観・風景をより良くするために必要な取り組みに関する意見として、①緑化活動、②環境美化活動、③意識啓発に関することに大別された。

地域リーダーとの意見交換では、空き屋敷等の管理については、個人の敷地に対して直接的な活動を難しいので、集落全体の美化活動が必要ではないかとの意見となった。そこで、季節の花々が彩る集落づくり・島づくりを目標として掲げ、今年度については座間味村福祉・産業まつりの会場内でブースを設置し、園芸講習会を開催することとなった。

将来的には、高見山展望台周辺をケラマツツジが一面に広がる風景づくり、集落及び島全体の花暦を作成し、季節の花々が楽しめる風景づくりを目標とすることとした。

<今年度の取り組みの絞り込み>



2.5.7 研修結果のとりまとめ

- 2月24日（土）に開催された座間味村福祉・産業まつりの会場で園芸講習会を開催し、植物や土に関するお話や、挿し木の方法等について講習を行った。
- 参加された皆さんは、講習内容に熱心に耳を傾け、多く質問が寄せられた。
- 園芸講習会を通して、植物のことや土づくりといった基礎的な内容から、挿し木の方法等の園芸技術について学ぶことで、庭木の手入れに関する正しい知識を得ることが出来た。
- 今後は緑化に関する正しい知識の普及を図るとともに、多くの住民の参加と協力を得ながら、「季節の花々が彩る集落・島づくり」、「ケラマツツジが一面に広がる風景づくり」に取り組んでいきたい。
- 多くの村民が身近な地域の風景・景観づくり活動に関わって持ってもらうためには、緑化に関すること等、村民が関心を持ちやすいテーマも含め様々な内容の勉強会の開催が必要である。



▲園芸講習会の様子



▲園芸講習会の様子

2.6.5 講習会・まち歩き、ワークショップの実施

1) 事業説明会・意見交換会

竹富島地区では、竹富島のまちなみ館にて、沖縄らしい風景づくりに係る人材育成の説明（スライド）及び竹富島地区における取り組みについて意見交換を実施した。

意見交換では、「取り組むこと」に関する意見を参加者の各人がポストイットに記載し、それをホワイトボードに書き出し・整理（質問事項も含む）した。その内容を踏まえ、今年度に取り組むこと絞込んだ。

日 時	平成 29 年 11 月 11 日(土) 時間： 20:00～21:30
会 場	竹富島 まちなみ館
参加者	地域リーダー：3人 サポーター：12人 地区担当者：2人 行政担当者：2人（沖縄県都市計画・モノレール課1人、竹富町まちづくり課1人） 合 計：19人
議 題	1. あいさつ 2. 沖縄らしい風景づくりに係る人材育成業務について 3. 今年度の竹富島地区における取組みについて ～ 意 見 交 換（ワークショップ）～ ○取り組みたいこと ○地域リーダーの選出 ○今後のスケジュール・次回の日時等

▼会議の様子



▼結果（実地研修内容の決定、取り組みたいこと）

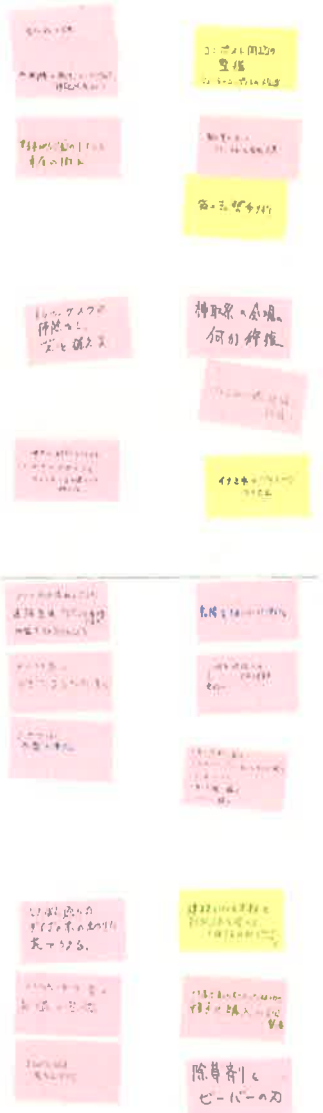
■今年度に取り組むこと（絞込み）

①草刈り機とブロワー機をレンタルし、②トゥールングックを掃除し、芝を植える



■竹富島地区・取り組むことに関する意見（参加者各人がポストイットに記載）

No.	意見等	区分
1	井戸に釣瓶を設置	井戸整備
2	井戸に蓋をする	
8	ビーチクリーン	環境美化
21	栈橋通り有刺鉄線柵の木柵へ変更	
27	トゥールングックの掃除と芝植え	
9	草刈り機のレンタル	環境美化用品購入
10	ブロワーのレンタル	
18	除草剤・ビーバ刃の購入	
22	電柱地下埋設化 PR 冊子作成	啓発活動
29	観光客マナー向上の看板設置	
16	種取祭会場の修繕	修繕
17	西栈橋修復	
20	西栈橋強化コンクリ注入	
23	ンブフル石畳の復元	
24	稲嶺のガヤトーラ葺き替え	
25	なごみの塔修復	撤去
26	緑地公園のトイレ及び東屋撤去	
7	コンドイの猫・カラス駆除	動物対策
19	猫の去勢手術	
4	アブ(洞窟)に水が流れるようにする	道路修復
5	道の凹凸修復	
6	地盤の高さ修正	
11	コンドイ花壇づくり	緑化(花壇)
12	栈橋通りデイゴ周り花壇づくり	
13	コミュニティセンター花壇づくり	
28	コンポスト周辺の整備	緑化(植林)
3	キャーギの苗木を購入し植える	
14	キャーギ・フクギ苗木購入	
15	防風林整備	
30	在来種種苗購入と育苗畑整備	



2.6.6 実地研修の実施

竹富島地区では事業説明会・意見交換会（ワークショップ）や地域リーダー等との打合せを踏まえ、実地研修として「トゥールングック（豊見親城跡）の清掃美化活動」を行うこととした。

<プログラム>		～トゥールングック（豊見親城跡）にて～
9:00～10:30	1.現地集合：作業内容・範囲・持ち物等の確認、 ラジオ体操、トウンナーカーで拝み	
	2.作業：チェーンソー及びビーバーによる雑木の伐採・草刈、カマ及びノコギリ等による伐採・草刈、雑木等の持ち運び（人手）、伐採雑木等の搬送	など
10:30～10:45	3.休憩（飲み物配布）	
10:45～12:00	4.作業：チェーンソー及びビーバーによる雑木の伐採・草刈、カマ及びノコギリ等による伐採・草刈、雑木等の持ち運び（人手）伐採雑木等の搬送	など
	5.記念撮影・総括（トゥールングックの頂上にて）	
12:00～12:30	6.後片付け、道具等の確認	
	7.弁当配布、解散	
(13:00～14:00 ～まちなみ館にて～ 材料費等の立替払いの清算)		

- ・トゥールングックは約 900～1000 m²（東側も含む）あり、トウンナーカー（西側）からのアクセスルートの確保、畑（北側）からのアクセスルートの確保を基本とした雑木の伐採（250～300 m²）を実施した。

- ・良好なガジュマル、クルチ、フクギ等の樹木はなるべく残し、ギンネムやつる植物等の雑木・雑草を伐採した。

- ・伐採量は概ね 2tトラック 8 台分となり、雑木林のトゥールングックから少し開けたトゥールングックとなった。



【補足】

- ・トゥールングック（豊見親城跡）は、1500年のオヤケアカハチ戦争の際、宮古軍の総大将であった仲宗根豊見親が東集落南東部にある小高い丘に城を築いたと伝えられている。

- ・豊見親の掘り当てた井戸をトウンナーカーと云われている。

